木と建築で創造する共生社会実践研究会

A-WASS 事務局長通信 創刊号

会長 長澤 悟

編集 花岡 崇一 E-mail:hanaoka@bdvision.co.jp

水野和夫法政大学法学部教授講演会(H28年12月24日)報告 ~資本主義の終焉、それからの社会~

水野氏は、「16世紀の利子率革命(オランダ 1.5%へ)は、中世から近代(資本主義)への転換点であった。それと同じ現象が英国、米国(13.9%→2.4%)などの経済大国に起こり、独、日本はゼロないしマイナス金利となった。これは 21 世紀の利子率革命と言わざるをえない。利子率が下がるということは、投資しても利益を上げることが難しいこと→資本主義発展の原動力であるフロンティアがなくなり、IT・金融空間に出て行った資本はバブルで弾けた。ドイツ、日本がゼロ金利ということは、国内に資本が行き渡ったということだ。(コンビニは日本全国に展開された。これ以上作ったら、全住民が一日 2 回はコンビニに行かなければならない)「より速く、より遠くへ、より合理的に」(資本主義の原理・原則)から「よりゆっくり、より近く、より寛容に」を原理・原則とする社会構築が必要だ」、と論じる。しかし、それがどんな経済社会であるか、何十年・何百年後に何を契機にその社会が現れるかは分からない。それまで、資本主義社会は紆余曲折を経ながら続く。私たちに大事なことは、人々が大きな不幸に陥らずに歴史の転換点を迎える準備をすることだ、と言う。

日本で、地殻変動が進んでいる。

講演会後の討論で、教育関係の現場の方から、「子どもの貧困が大きな問題だ。都市部では生活保護受給者が 急増している。親の貧困が衣食生活の乱れ、学習嫌い、進学をあきらめるなど、子どもの育ちに大きな影響が 現われている。6人に1人と言われているが、現状はもっと悪くなっている。学校の現場では、親の貧困、子 どもの貧困が教育のむずかしさを加速している」という報告があった。私が校長退職してから13年。確かに、 朝ご飯を食べてこない子がいて、校長室でビスケットを食べさせたことはあった。親の貧困が家庭生活を壊し、 子どもに生活の不安がある子は把握できた。今、親の経済格差が子どもの教育格差につながっている。これは、 日本の将来に人材を失う一大事だ。この十年の間に何があったのか?







図2「過剰」な内部留保金378兆円

この資料から読み取れるように、この十年働き方の改革といいながら規制改革で非正規雇用を広げ、労働者の賃金を低く抑えてきた。企業は「クレーム対応のため」「リスク対応のため」といいながら利益の内部留保を続けている。利益の労働者への還元が必要だ。

北陸の設計者が、「私のところは日本全体の進み具合からみると、周回遅れと言えます」という感想に、水野氏が「周回遅れは悪いことではない。近くでじっくり、専門性を活かしてその地域に必要な仕事をすることが大事なのです」と返していました。このあたりに、大事なポイントがありそうです。

水野氏の著作



「資本主義の終焉と歴史の危機」 集英社新書 2014 年刊 ※当日の講演資料は、希望者に配信します。



「国貧論」 太田出版 2016 年刊



「株式会社の終焉」 ディスカヴァー社 2016年

本の紹介

伝統木構造に学ぶ 構造と意匠の融合 増田一眞著 建築画報社 2016 年 11 月刊



増田氏と A-WASS のつながりは、大分県中津市の鶴居小学校体育館の構造設計を増田氏がなされた時にできました。登り梁とそれに内接する曲線梁(いずれも重ね梁で作成)で構成した合成フレームは驚くほどのボリュームだが、自然な感じに充たされ、いささかの違和感もありません。地元の杉材を、一本一本製材業の新貝さんが選んだ苦労の結晶でした。

その後、我孫子市の湖北白ばら学園の幼稚園らしい柔らかい曲線の美しさを見せていただきました。増田氏は全国の有力宮大工さんたちとともに伝統木構法を現代に生かし、未来に伝えるために建築基本法制定の運動に取り組んでいます。増田氏は「建築構法は、単なる一技術課題にとどまらず、一国の経済と文化の発展に甚大な影響をもたらすから、少数の専門家だけでなく、多数の聡明な大衆の正しい認識が必要である」と、述べている。日本の課題がここにもある。

編集後記

久しぶりに通信をお届けします。世界に目を向けると、IS のカリフ制国家の樹立とテロ、英国の EU 離脱、米国のトランプ大統領誕生と地殻変動が起こっています。その底流は何なのか、わが国はどうすべきか、この問いに応えていくことも必要だと考えます。A-WASS は何を核に、何を目指すべきかを総会で皆様と討議し合うとともに、日常的な考えの交流の場として通信を再開します。不定期発行、花岡の責任編集という形で出発します。ぜひ、皆様のお考えをお寄せください。

A-WASS 事務局長 花岡崇一 E-mail:hanaoka@bdvision.co.jp